

孤独と孤立の あいだを考える

南山大学研究所連携国際ワークショップ



2022年11月5日(土)
15:00～17:00

南山宗教文化研究所1階会議室
[Zoom webinar での配信あり]

司会兼通訳: エンリコ フォンガロ (南山宗教文化研究所)
* 使用言語は、イタリア語あるいは日本語です。

【プログラム】

15:00-15:50 報告 1 「孤独省: 芸術から孤独を研究する」 レベッカ モッチャ (芸術家)

15:50-16:40 報告 2 「日本における孤独・孤立対策と自殺対策」 森山花鈴 (社会倫理研究所)

16:40-16:50 コメント 1 ウィニバルドス ステファヌス メレ (社会倫理研究所)

16:50-17:00 コメント 2 奥田太郎 (社会倫理研究所)

【報告要旨】

報告 1

「孤独省：芸術から孤独を研究する」 レベッカ モッチャ

本報告の目的は、マルチメディア・インスタレーションに取り組む現代のビジュアル・アーティストとしての私の実践の中から、現在進行中のプロジェクト「孤独省」を紹介し、その背景を説明することにある。

このプロジェクトは、コロナ禍に経験された共通の孤独感から出発し、新自由主義社会における「孤独」の心情を探るものである。その実用的かつ象徴的な出発点は「孤独省」である。孤独に関わる社会問題および健康問題に対処すべく2018年に英国で担当大臣が任命され、他の国々、たとえば、日本でも2021年に同様の任命があった。

このプロジェクトを進めるべく、イギリス、アメリカ、イタリア、そして日本など、異なる文化的・地理的文脈の中で研究を発展させ、次の問いに取り組んでいる。

- ・新自由主義的なハイパーコネクト社会で孤独であるとはいかなることか？
- ・孤独は物質的な形でどのように現れ、そのことは私たちが生きる社会・政治的文脈とどう関わっているのか？
- ・今日の「孤独」は、共通の感情として私たちを力づけることができるのか？

*本プロジェクトは、イタリア文化省のプログラム・イタリアンカウンシルの助成を受けており、制作されたマルチメディア・インスタレーションは、2023年にミラノの現代芸術研究所 (ICA) で展覧会を開催される予定です。

報告 2

「日本における孤独・孤立対策と自殺対策」 森山花鈴

日本では2021年に内閣官房に孤独・孤立対策室が設置され、英国に続き世界で2番目の孤独・孤立担当大臣が誕生した。孤独・孤立は、自殺と大きく関連すると言われる。本報告では、特にコロナ禍での日本における孤独・孤立および自殺の現状と対策を報告する。

主催：南山大学社会倫理研究所、南山宗教文化研究所